

新中間処理施設ができる

私たちの暮らしはどんなになるの？

新しい施設ができるのと私たちの暮らしはどのように変わるのでしょか。結論から言えば、私たちの生活が大きく変わることはありません。しかし、変わることを言えば、私たちが丁寧に分別し排出した「ごみ」が、効率的かつ徹底的に資源として生まれ変わること。今から、施設の完成に「期待ください」。

いちばん変わるのはいちごみ処理施設のイメージかも!?

「ごみ処理施設と聞くと、臭い・汚い」というイメージをお持ちではないでしょうか。近年、全国各地では、清潔感にあふれた、これまでのイメージを覆すような最新の「ごみ処理施設」が増えていきます。令和11年度に新しくなる本市の施設も、最新鋭の設備が揃い、自由に見学可能となります。「工場跡」の人だけでなく、誰もが楽しめる施設になりますよ！



新しい施設はなんと発電所!

新中間処理施設では、「ごみ」を燃やした時の熱を効率的に使って発電を行います。

しかも、その量は、なんと一般家庭約4000世帯の年間使用量に相当!

新中間処理施設は、「ごみ」という燃料を活用した発電所であり、火力発電所としての登録も行います。発電した電気は、公共施設での使用も想定しています。

本市の恵み豊かな自然環境を守っていくため、市民、事業者、行政が一体となって、2050年までに「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指す、「ゼロカーボンシティNUMAZUNOSU」に貢献します。

煙突から出てくる煙の正体は!?排ガスが今よりキレイに!

新中間処理施設の煙突からは、もくもくと煙のようなものが出てきますが、実はこのほぼ全てが高温の水蒸気となります。灰色に見えることがありますが、その理由は太陽光が差し込む方向により黒っぽく見えるためです。

新中間処理施設は、国が定めた基準よりも厳しい「自主規制値」を守りながら、安全に施設の運転を行います。

そのため、「ごみ焼却施設」には、環境へ影響を与えない設備を多数導入します。「ごみ」を燃やすときの温度を制御したり、高性能のフィルターを導入したりすることで、排ガスをこれまでよりキレイにしています。

変わることに

災害時もルールに則ったごみ出しを

近年、激しい大雨による床上浸水等の被害が増加しています。流れてきた木や枝、濡れて使えなくなってしまう畳や家電製品など、災害によって発生した「ごみ」はすべて「災害廃棄物」に分類されます。

災害発生時は、災害廃棄物を搬出できるようにするため、臨時の集積場所を設けますが、排出できるものや分別方法については、通常の搬出時と同じルールとなります。

しかし、近年、廃タイヤやブラウン管のテレビなど、市で処理できないものや、明らかに災害廃棄物ではない「ごみ」が集積場所に出されているケースが見受けられます。



沼津をキレイに！という想いは「われがらも」。

沼津の環境美化については、ぬまづの宝100選にも選ばれている沼津方式による分別方式をはじめ、自治会やNPO法人による清掃活動、住みよい沼津を作る市民運動実践活動、年に1度のクリーン週間等を通じて、多くの市民の皆さんに協力をいただいています。



「ごみ処理における様々な課題については、行政だけでなく対応できるものではなく、市民の皆さん一人ひとりの尽力の上に成り立っています。これからも、沼津をキレイにという想いを持ち続け、市民の皆さんと行政の協働による美しいまちづくりの「ご」協力をお願いします。

いつもありがとうが「ご」らしくあー!

引き続き、適切な分別にご協力ください。



安全な「ごみ処理の実現に向けて」

令和5年10月、埋め立て「ごみ」を収集中の車両から、小型家電の充電式電池の混入が原因となる車両火災が発生しました。そのため、今年4月からは本市でも使用済みの小型充電式電池の回収を始めました。ルールに則った「ごみ出し」をよろしくお願いします。

また、今年の1月には、「ごみ」集積場所で大変痛ましい交通事故が発生しています。普段使い慣れた集積場所であっても、細心の注意を払い、気を付けて「ごみ出し」をしてください。



ごみの分別方法は「ごみの分別・減量ガイドブック」やごみ分別アプリ「さんあ〜る」でご確認いただけます。
※詳細は、市ホームページをご覧ください。 広報めまづ 検索

誇り高い「沼津方式」引き続き高い環境意識を

よく耳にするフレーズですが、「ごみ」は立派な資源です。国は、令和4年に「プラスチック資源循環促進法」という、プラスチックを資源として捉え、積極的なリサイクルを促す法律を制定しました。

一方、本市では昭和50年から「沼津方式」により、分別・リサイクルを推進してきました。私たちは約50年も前から、時代を先取りし、高い環境意識に裏付けされた「ごみ出し」を行ってきたこととなります。

新中間処理施設が稼働するのは5年程度先となります。稼働後も分別方式が大きく変わることはありません。

市民の皆さんが、日々、丁寧な分別をしていただいていることで、「ごみ」の種類ごとに適切な処理を行うことが可能となり、効率的なリサイクルにつながるのです。

皆さんの高い環境意識と高機能な施設の両方が揃うことで、循環型で持続可能な、現在よりもキレイな沼津を実現することができます。

最新鋭の設備が揃う新中間処理施設の完成を楽しみにしつつ、次の「ごみ」の日も丁寧に分別にご協力ください。